



防災の日

土日を含めるといつもより少し長い45日間の夏休みが終わり、一回り大きくなった子どもたちが登校してきました。この夏休み期間中には、熊本県で大きな地震が、千葉県では3度の線状降水帯の発生による大雨があり、多数の方がお亡くなりになり、けがをされた方や地震や大雨の影響で普段通りの生活ができないままの方も大勢いらっしゃいます。亡くなられた方のご冥福を祈るとともに被害に遭われたすべての方に、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、9月1日は皆さんもご存じの通り、「防災の日」です。「防災の日」は、大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災を教訓として、一人一人の防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうよう制定されたものです。

地震はいつ起こるか分かりません。平成23年（2011年）の東日本大震災の際、当時私が勤務していた学校では、1・2年生が下校した直後に地震が発生しました。3年生以上の子どもたちは、学校で家族の方が迎えに来るまで待つことができましたが、地震発生後に電話もつながらなくなってしまった状況で、1・2年生の全員が無事に帰宅できたかどうかを確かめることはできませんでした。保護者の方も勤め先から迎えに来られた方は長い距離を徒歩でいらした方もいて、最後にお迎えにいらした方は翌日の朝のことでした。

子どもたちが学校にいるときには、保護者等の方が迎えに来るまで必ず学校でお預かりしますが、心配なのは、登下校中や放課後子どもたちが一人にいるとき、または子どもたちだけで遊んでいるときなどです。ぜひ、ご家庭でも「防災の日」を機会に、そのようなときにどのように行動すればいいかということについて確認したり、決めたりしていただくよう、よろしくお願いいたします。

「東京都防災ホームページ」からは、災害時の行動や日頃の備えなどについて学ぶことができるほか、トップページにある「防災関連リンク集」から「災害時の安否確認」に進んでいただくと、各通信事業者が提供する災害時の安否確認サービスが紹介されています。体験利用日についても紹介がありますので、万が一に備え、家族の連絡手段の一つとして考えるのもよいかもしれません。

1学期は、6月に東京都内で、7月には長崎県で小学校の火災がありました。これを受け、本校では今後の避難訓練の予定と実施内容を見直すとともに職員で防火シャッターについての確認、玉川消防署の指導を受けながらの初期消火訓練を夏季休業期間中に行いました。4月の保護者会全体会では「安心安全な学校」について話しました。本校も校舎の老朽化が見えないところで進んでいる可能性があります。毎月職員が行う安全点検にこれまで以上の真剣さをもって取り組み、まずは未然防止、そして万が一に備えたいと考えています。